



記者席配付資料
令和8年7月3日
文化スポーツ部文化振興課

第4回ミセテイワテ動画コンテストの開催について

岩手県では、文化やメディア芸術の振興を図り、岩手の魅力をより多くの方に伝えるため、第4回ミセテイワテ動画コンテストを開催します。

本県の魅力を発信する短編動画作品を7月3日（金）から11月2日（月）まで募集します。

1 目的

岩手県の魅力を発信する短編動画作品を公募するコンテストの開催により、岩手ファンの拡大やクリエイター等の参画を促し、本県の文化やメディア芸術の振興を図るとともに、作品を通して、本県の多彩な魅力を広く発信し、本県に対する認知度の向上及び関係人口の拡大を図る。

2 コンテストの概要

(1) 募集作品：岩手に関連するオリジナル動画作品（表現方法はアニメ、CG、実写等を問わない）

テーマ：「岩手を魅せるのはあなた!？」

岩手の自然や街並み、食、暮らし、ものづくり、伝統文化など、岩手の魅力を伝える動画を募集する。

(2) 募集部門

チャレンジ部門（31秒以上3分以内の作品）

インスタ部門（30秒以内の作品）

(3) 審査員

特別審査員・大友 啓史氏 ほか5名（別紙「審査員プロフィール」のとおり）

(4) 賞金等

チャレンジ部門		インスタ部門	
最優秀賞（1作品）	賞金15万円、賞状、トロフィー +VIDEO SALON.web記事掲載	最優秀賞（1作品）	賞金5万円
優秀賞（3作品）	賞金5万円、賞状	優秀賞（3作品）	賞金2万円
特別賞（2作品）	賞金3万円、賞状	特別賞（3作品）	ご当地WAON 1万円分
奨励賞（2作品）	賞金2万円、賞状	奨励賞（4作品）	ご当地WAON 5千円分
A I 活用賞（3作品） ご当地WAON 5千円分 チャレンジ部門及びインスタ部門の応募作品のうち、A I を活用した優秀な作品を表彰			

3 スケジュール

- (1) 募集期間 令和8年7月3日（金）～11月2日（月）
- (2) 審査 令和8年11月～12月
- (3) 結果発表 令和9年1月下旬
- (4) 表彰式 令和9年2月1日（月）



（7月3日公開予定）

4 ミセテイワテ動画コンテスト特設サイト <https://miseteiwate.jp>

※応募方法や審査基準、詳細の募集要項等は、特設サイトを御覧ください。

【担当：文化振興課 文化交流担当課長 竹花、主査 刈屋（TEL：019-629-6286）】

審査員プロフィール

■特別審査員

映画監督 大友 啓史



©興梠真穂

1966年盛岡市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。
1990年NHK入局、秋田放送局を経て、1997年から2年間L.A.に留学、ハリウッドで脚本や映像演出に関わることを学ぶ。

『ちゅらさん』、『ハゲタカ』、『白洲次郎』、大河ドラマ『龍馬伝』等の演出、映画『ハゲタカ』(09)の監督を務める。2011年4月NHK退局、株式会社大友啓史事務所を設立。次々と話題作を手がける。

〔主な作品〕

『るろうに剣心』シリーズ5部作(12~21)、
『プラチナデータ』(13)、『秘密 THE TOP SECRET』(16)、
『ミュージアム』(16)、『3月のライオン』二部作(17)、
『影裏』(20)、『レジェンド&バタフライ』(23)、
映画『宝島』(25)、NETFLIX映画『10DANCE』(25)

■アンバサダー兼審査員

映像ディレクター 高橋 栄樹



岩手県生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業。

MVディレクターとして、THE YELLOW MONKEYからAKB48、乃木坂46など幅広く手がける。2012年からは三作連続で、ドキュメンタリー映画『Documentary of AKB48』シリーズを担当。

2020年には『僕たちの嘘と真実 Documentary of 欅坂46』を監督した。

最新作は、カンテレドラマ『MADDER その事件、ワタシが犯人です』(3話・4話)

■審査員

クリエイティブ・ディレクター サミュエル・トーマス



2015-2016年に120か国で放送のTV番組Fashion One 東京支部の編集長を経て、2016年から瀬戸株式会社のクリエイティブディレクターとしてコンテンツ制作を担当。2017年に東京大学修士号を修了。

内閣府等の動画制作事業でプロデューサーとして活動。環境省や観光庁の英字原稿執筆・編集も担当。令和5・6年度の東京都の海外向け情報発信事業でアドバイザーとして活動。2013年から2023年までThe Japan Timesに記事を寄稿。2013年から2023年まで文化学園大学で非常勤講師として講義を行っている。

映画監督兼写真家 シビラ・パトリチア



東京を拠点に活動する、エミー賞受賞歴を持つ映画監督兼写真家。社会的テーマと人間の物語を、ファッションのバックグラウンドを活かした独自の美的視点によって結びつける、アーティスティックなアプローチを特徴とする。

日本の藍建て職人を追った短編ドキュメンタリー『色をこえて青を見る』(2025)は、Sheffield DocFest、Palm Springsで正式上映され、DOC NYCにて特別賞を受賞。

2026年にはロンドンのバルビカン・センターの映画シーズンでもプレミア上映された。VICE Newsの『The Dark Side of Manga』で2023年にエミー賞を受賞。

短編ドキュメンタリー『Toma Unrestored』(2025)はNOWNESSにてプレミア公開され、高い評価を得ている。

マルチクリエイター・プロデューサー Kiona (キオナ)



ジャンルレスの映像を手がけるマルチクリエイター。武田鉄矢氏のマネージャーを務めたことをきっかけにエンターテインメント業界へ入り、その後、様々なアーティストマネジメントやプロデュースを経験。

2021年よりクリエイターとして本格的に活動を開始。

Sony、Adobe、Coca-Cola など、国内外 100 社以上の映像制作を手がける。

活動開始から 4 年間で、SNS 作品の累計再生回数は 5 億回を突破。

SNS 総フォロワー数は 50 万人を超える。

また、CALEN (総フォロワー 100 万人)、Natsuka (総フォロワー 25 万人) などのクリエイタープロデュースも担当。

【実績】

- ・ Vertical Movie Award 2023 準グランプリ
- ・ 浅草観光連盟映像コンテスト 2021 グランプリ

【著書】

『縦型動画で世界を制す

～一瞬のマジックで心をつかむ方法～』

AI Creative Director Norihiko (ノリヒコ)



AI Creative Director。生成 AI と映像制作を掛け合わせ、企業 CM・MV・プロモーション映像を企画制作。

YouTube では、AI 動画制作の実践的なノウハウを発信。

AI 動画研修、クリエイター育成、AI 動画イベントの企画運営を行っている。